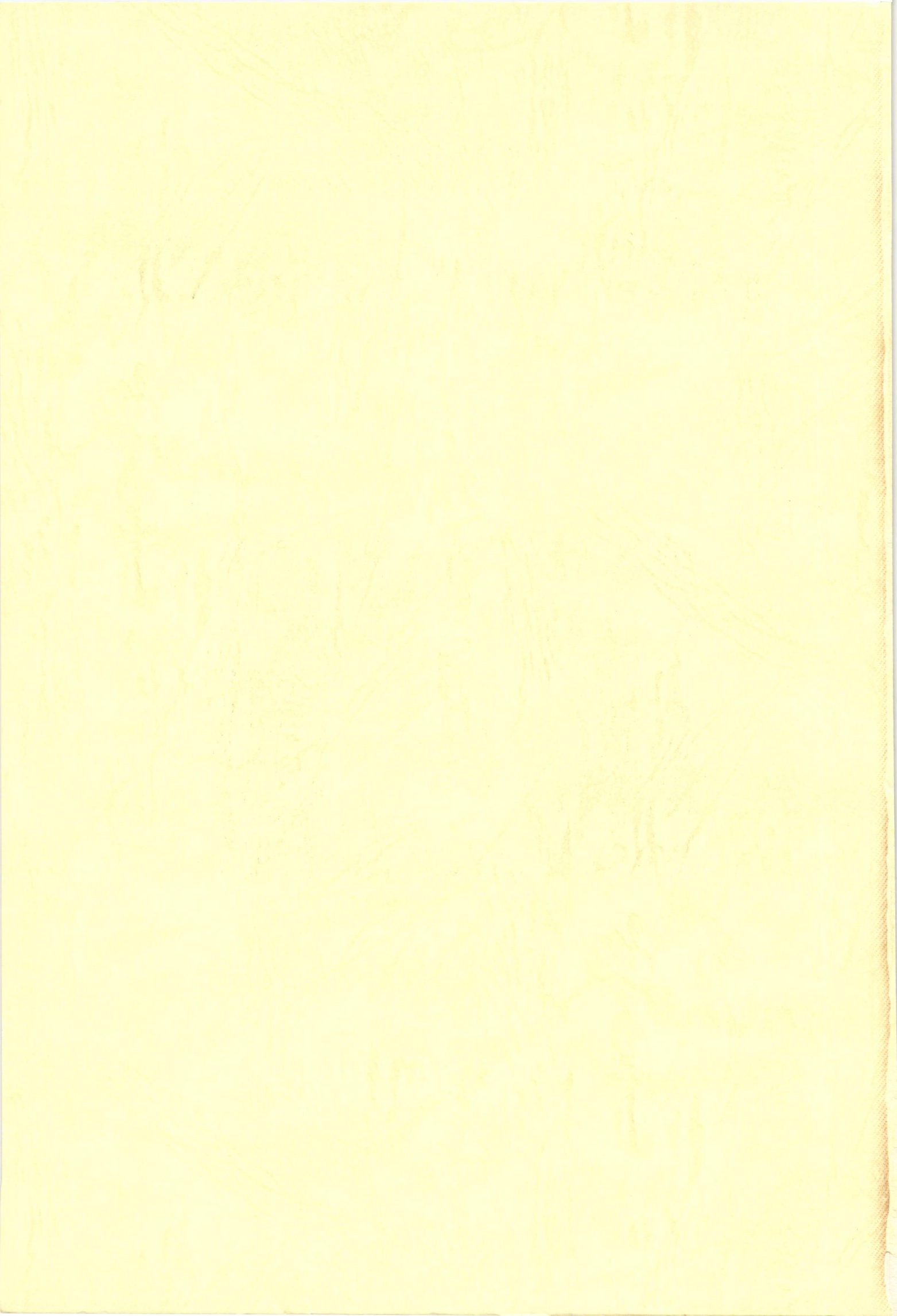


1993～'94年度

国際ロータリー第2660地区ローターアクト

ローターアクト年次報告書





1993~'94年度

国際ロータリー第2660地区ローターアクト

ローターアクト年次報告書



目 次

年次報告書

地区ローターアクトターゲット	2
あいさつ (地区ローターアクト委員長)	3
「1年を振り返って」 (地区ローターアクト代表)	4
講演「ロータリーから見るローターアクトプログラム」	5
(地区パストガバナー・青少年奉仕部門担当)	
地区組織図	8
地区ローターアクト年間スケジュール	9
地区行事	10
ゾーン行事	19
地区ローターアクト委員・地区役員名簿	20
ローターアクト会員推移一覧表	21
地区ローターアクト会計報告	22

年次大会報告書

大会スケジュール	1
ごあいさつ (地区ローターアクト代表)	2
ごあいさつ (地区ローターアクト委員長)	3
歓迎の辞 (吹田ロータリークラブ会長)	4
歓迎の辞 (吹田ローターアクトクラブ会長)	5
来賓ご祝辞 (吹田市長)	6
来賓ごあいさつ (地区ガバナーノミネー)	7
来賓ごあいさつ (地区パストガバナー)	8
優秀クラブ表彰	9
地区・ゾーン活動報告	10
祝電披露	11
お知らせ (大阪府福祉部福祉政策課)	12
メインプログラム (視覚障害者ガイドヘルパー講習会)	15
視覚障害者ガイドヘルパー講習を受けて	20
記念講演者のご紹介	24
記念講演「健全者に望むこと～視覚障害者の立場に立って～」	25
クラブ発表	31
記念パーティー・閉会式典	34
講評 (地区パストガバナー・青少年奉仕部門担当)	35
クラブ発表表彰	36
お礼の言葉 (年次大会実行委員長)	37
大会を振り返って	38
登録者名簿	40
年次大会組織図	46
年次大会会計報告	47
編集後記	48

1993～94年度

国際ロータリー第2660地区ローターアクトターゲット

『RACを学ぼう！ 奉仕を楽しもう！』

3つの新クラブが誕生し、当地区は、規模的には日本でも有数の地区となりました。

現在、素晴らしく活動しているクラブ、メンバーもいます。しかし会長、幹事だけが、若しくは会長、幹事になったから、ローターアクトしようでなく、頑張るのではなく、みんなが変わってこそクラブの、地区の活性化が可能となります。

心の中に隠れている熱血ラッカーの血を呼び起こし、RACを学び、RACを楽しみ、活動内容、人数、規模全てに日本一のクラブ、地区を目指そう！

奉仕活動を楽しむことは、奉仕活動を知ることこそが、その第一歩と考え、各クラブの奉仕活動ができるかぎり他クラブに紹介し、出来る限りのバックアップを行いたい！

そんな思いを、今年度のターゲットに掲げてみました。



地区ローターアクト委員長あいさつ



1993~'94年度
国際ロータリー第2660地区
ローターアクト委員長

北村 英一

昨年度は初めて地区委員長をつとめた年で、とにかく一年間はアクターと共に会議や行事に参加し、RACの実態を知り、アクターの考え方を理解する事につとめました。

今年度はこの一年の経験に基づいて、過去の歴史をふまえ乍ら、新しい時代に適した改革を段階的に行いたいと考えました。

幸い橋本代表は同じ吹田クラブでもあり気心もよく分かっていたので十分な討議を行いつつ進める事が出来ました。新しく3ゾーンの分割、役員の選出方法、地区会計の改善等が主たるものですが、詳細は1994年7月から改正の地区取り決め事項を読んで見て下さい。

最も重要な事はアクター自身の自覚の問題です。ロータリーがいくら会員増強につとめ、多額の援助をそそいでもアクターが自分達でRACを育てていこうとする責任感を持ってくれなくてはRACの発展は有り得ないという事です。RIの最近の方針としてRACを青少年奉仕部門から社会奉仕部門に移し、またRCとRACは共同のパートナーとして活動する社会奉仕団体に位置づけています。世界中に広まり急速に成長しつつあるローターアクト。次代を担うアクターに対するRIの期待は益々高まって来ています。

この一年を通じて地区各クラブの活動、また地区行事を通して2660地区としてのまとまりのよさも最高である事を地区大会のフィナーレで示してくれた事は誠に感激の極みでした。指導に当たってくれた地区役員並びに各クラブ役員の皆さんの頑張りに讃辞をおくりたいと思います。

最後になりましたがいろいろ御指導を頂いた、大森ガバナー、菅生パストガバナー始めロータリーの各委員の皆様には厚くお礼申し上げます。

1年を振り返って

『RACを学ぼう! 奉仕を楽しもう!』を地区ローターアクトターゲットに掲げ1年間皆様とともに活動、推進してまいりました。今、1年を振り返り、改めて第2660地区の皆様へ感謝申し上げます。特に行事をホスト頂きましたメンバーには、ご苦労様でした。

また、リーダーシップフォーラムから新旧理事役員会まで全ての行事に於て、多数のローターアクターの時間と体力、知力をもってご協力いただき、晴天のうちに無事消化できましたこと皆様のおかげと深く感謝申し上げます。

私は『出逢い』と云う言葉が大好きです。

8年前、吹田RACに入会して以来今まで多数の『出逢い』を経験して来ました。RACはまさに『出逢い』の宝庫だと思います。

『出逢い』

それは人と人だけでなくのでしょうか。いいえ、物との、仕事との、苦しみとの、哀しみとの等、様々な『出逢い』の形があります。私は1年前、役職「地区代表」に『出逢い』ました。おかげで多数の仲間とともに多数のことを考え、多数のことを学ぶことができました。

今、心からこの地区代表との『出逢い』を喜びに感じ、この機会を与えて頂いた皆様へ感謝申し上げます。

地区役員をしたら「しんどいし、時間はとられるし…」と躊躇する人がいます。確かに楽ではないかもしれませんが、今よりもRACに係わるウエイトが高くなります。しかしそれ以上にやり終えたときの爽快感、充実感はいわゆるものがあります。これからは地区役員、地区代表との『出逢い』の機会があったら是非ともその『出逢い』を大切にしたいと思えます。

最後にこの1年間お世話になりました大森ガバナー、菅生パストガバナー、北村ローターアクト委員長はじめ行事に参加協力いただきましたロータリアン、ローターアクターに厚くお礼申し上げます。

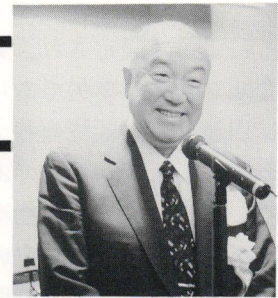
また、地区役員の皆様どうもお疲れ様でした。



国際ロータリー第2660地区
ローターアクト代表

橋本幸治

ロータリーから見るローターアクトプログラム



国際ロータリー第2660地区
パストガバナー
青少年奉仕部門諮問委員
菅生 浩三

本日は、国際ロータリー第2660地区ローターアクトの新旧理事役員研修会ということでもあります。本日まで出席の皆様は、各クラブの中核となる方々でありますから、当地区のローターアクト活動がどのような成果をあげるかどうかは、一に皆様のご努力の如何にかかっていると申せましょう。皆様には、日曜日の早朝からご苦勞でございますが一日しっかりとご勉強いただくようお願いいたします。

さて、当地区のローターアクト・クラブも22、ローターアクターも440名を数え、次年度からは3ゾーン制で運営されることとなり、全国の地区の中でも1、2を争うご盛況で、ロータリー地区の青少年奉仕部門担当として、また、地区ローターアクトの諮問委員として、心から慶ばしく存じ、また、ローターアクトの地区役員や各ローターアクト・クラブの会長さんはじめ会員の皆様のご努力、ロータリーの地区ローターアクト委員や各提唱ロータリー・クラブの会員の皆様のご尽力とご協力に、心からお礼を申し上げる次第でございます。

ところで、「ロータリーから見るローターアクト・プログラム」という本日のテーマは「ロータリーは、ローターアクトというロータリー自身のプログラムについてどのような期待を持ち、また、その現状や将来についてどのような意見を持っているのか。」の謂と理解されます。尤も、「ロータリーはローターアクトが実施しているプログラムをどのように受けとめているか。その謂と理解する余地もありますが、いずれにせよ、「ロータリーの世界にあって、ローターアクトとは何か。その現状と将来はどのようにあるべきか。」の点に集約されると考えます。

当地区のローターアクトの皆様が地区とゾーンのレベル及び各クラブのレベルで活発な活動を展開しておられることは、皆様の方がよくご承知でありましょう。前者としては、地区年次大会、海外研修、献血運動、リーダーシップ・フォーラム、世界ローターアクトDAYのローターアクト・フェスティバル、地区連絡協議会、新旧理事役員会、ゾーン交流会、ゾーン会長会、他地区との合同運動会、ロータリーとのジョイント・パーティなどでありましょう。後者としては、各奉仕活動部門ごとに実に多彩多様な活動が展開されているようです。クラブ奉仕活動部門では、例会の充実、出席、会員増強、親睦に向けての活動、各種記念行事、他クラブやロータリー・クラブとの交流例会、公開例会、IACとの交流、一泊研修、体験学習、キャンプなどの野外活動、スキーツアー、お茶会、テーブル・マナーの講習、美術鑑賞など。

専門知識開発部門では、会員やロータリアンによる職業卓話、企業見学、職業紹介、適性チェック、伝統工芸体験など。社会奉仕活動部門では、チャリティ・バザー、身体障害児招待イベント、地域社会行事への参加、無料映画会、人形劇提供、手話講習、リングプル、古切手蒐集、クリーンハイク、使用済みテレカ、アルミ缶、牛乳パックの回収、リサイクルの見学や勉強、老人ホームとの合同バザー、共同募金運動への協力、独居老人とのふれ合いの為の食事と記念品贈呈、地元清掃奉仕、障害児との合同ハイキング、成人式記念撮影ボランティアなど。国際奉仕活動部門では、国際的な例会テーマの設定、留学生対象の卓話、クイズ、交流会招待、対話と交歓、野外イベント、外国語講座、海外RACとの交流、姉妹提携、文通の促進、留学生との関西新空港見学、世界料理の紹介と賞味など。これらがそれぞれ意欲的に取り上げられ、実施されているようです。

さて、申すまでもなく、ロータリーのローターアクト・プログラムは、1968年に国際ロータリ

ーによって設定され、アメリカのシャーロッテ RC が同年 3 月にノースカロライナ大学 RAC を提唱したのが嚆矢でありますから、すでに 26 年の歴史を閲しておりますし、わが国では同年 6 月に川越 RC が国際商科大学 RAC を、当地区では同年 7 月に大阪北 RC が大阪北 RAC をそれぞれ提唱したのが最初であります。もちろん、ローターアクトは、青年男女にロータリー精神を鼓吹し、ロータリーの指導と後援のもとに奉仕活動を行うことを奨励し、その活動を通じて健全で指導的な市民として育成するためのプログラムであります。そして、青年男女の知識や技能を高めてその個々の能力を開発し、物心両面に亘るニーズとの取組みや親睦と奉仕活動を通じて、地域社会における良質な指導的な市民として存在を達成するとともに、国際社会における人々との良好な信頼関係を推進することが、ローターアクト・プログラムの目的であること、この目的のもとにさらに具体的な 6 つの目標が設定されていることも、皆様よくご存知のとおりであります。このような意味において、当地区のローターアクトの皆様が精力的に実施しておられる前述のプログラムや活動のすべてが、この目的と目標に沿った極めて適切かつ有意義なものということができるわけでございます。

ところで、ローターアクトとは一体何でしょうか。私どもの人間社会において、ローターアクトにはどのような存在意義があるのでしょうか。この間は、結局において「ロータリーとは一体何でしょうか。私どもの人間社会において、ロータリーにはどのような存在意義があるのでしょうか。」との間に帰着します。何故ならば、ロータリーは、現在社会の中核として職業活動を遂行している人達によって構成され運営されておりますが、その精神と活動の全部は、時の経過とともに、次代を担う世代の人達によって十分に継承されさらに発展させていただかなければならないからであります。ロータリーが青少年への奉仕活動の部門を設定し、次世代の人達との交流と育成に努めて将来社会への投資活動に注力することをその奉仕活動の最も重要な課題として取り上げている所以であります。従って、ロータリーとローターアクトとは、別個の社会的存在ではありますが、その精神と存在意義を等しくするものであり、ローターアクトの理解のためには、ロータリーの基本的な理解が不可欠であるとされる所以でもありましょう。

申すまでもなく、ロータリー精神の核心は、「サービス」"Service" の一点にあります。ロータリーの存在目的は、本日お配りした資料にありますその「綱領」"Object of Rotary" に掲げられておりますが、その中核的な考え方が「サービスの理念」"The Ideal of Service" にあるからであります。ご承知のように、ロータリーは、1905 年アメリカのシカゴの地において青年弁護士ポールハリスとその友人によって創設されたものであり、アメリカにおける欧米社会の社会感覚の中において形成され発展したものであります。「人間は自己の責任において個人としての存在を全うすべきものはあるが、同時に自分一人では生きて行けない社会の中でしか生きて行けない社会的存在でもある。自己の生を全うするには、実に多種多量の欲求を充足させねばならないが、それらは社会を形成する他人の職業上の努力や社会的活動の成果を利用することによって始めて可能となる。人間は社会的動物と称される所以である。従って、人間は、自分が携わる職業について最善の努力を尽くし、最も良質の成果を他人のため社会に提供して行くとともに、さらにこの努力を社会人としての一般的な活動についても及ぼして行くという社会的な責務を負っている。

これらの責務を厳しく自覚し、その自覚に基づいた行動を実行することをサービス Service といひ、ロータリーはこのサービス Service の理念の認識と実行を目的として結集された職業人の集団である。」ということでありましょう。ただ、「個の確立を前提とした社会性の認識と実行という考え方」は、社会の当事者は個人であり、社会は個人によって構成されるものと明確に認識するいわば当事者意識を主潮とする欧米社会にあっては、むしろ日常の社会常識であり、特段の解説や理解のための努力は必要がないのかも知れません。ロータリーやそのプログラムとしてのローターアクトなどは、マクロな見地からは、欧米社会ではむしろ日常茶飯で日常生活の延長としての自然発生的なものであったのかも知れないのであります。ところが、わが国では如何がな

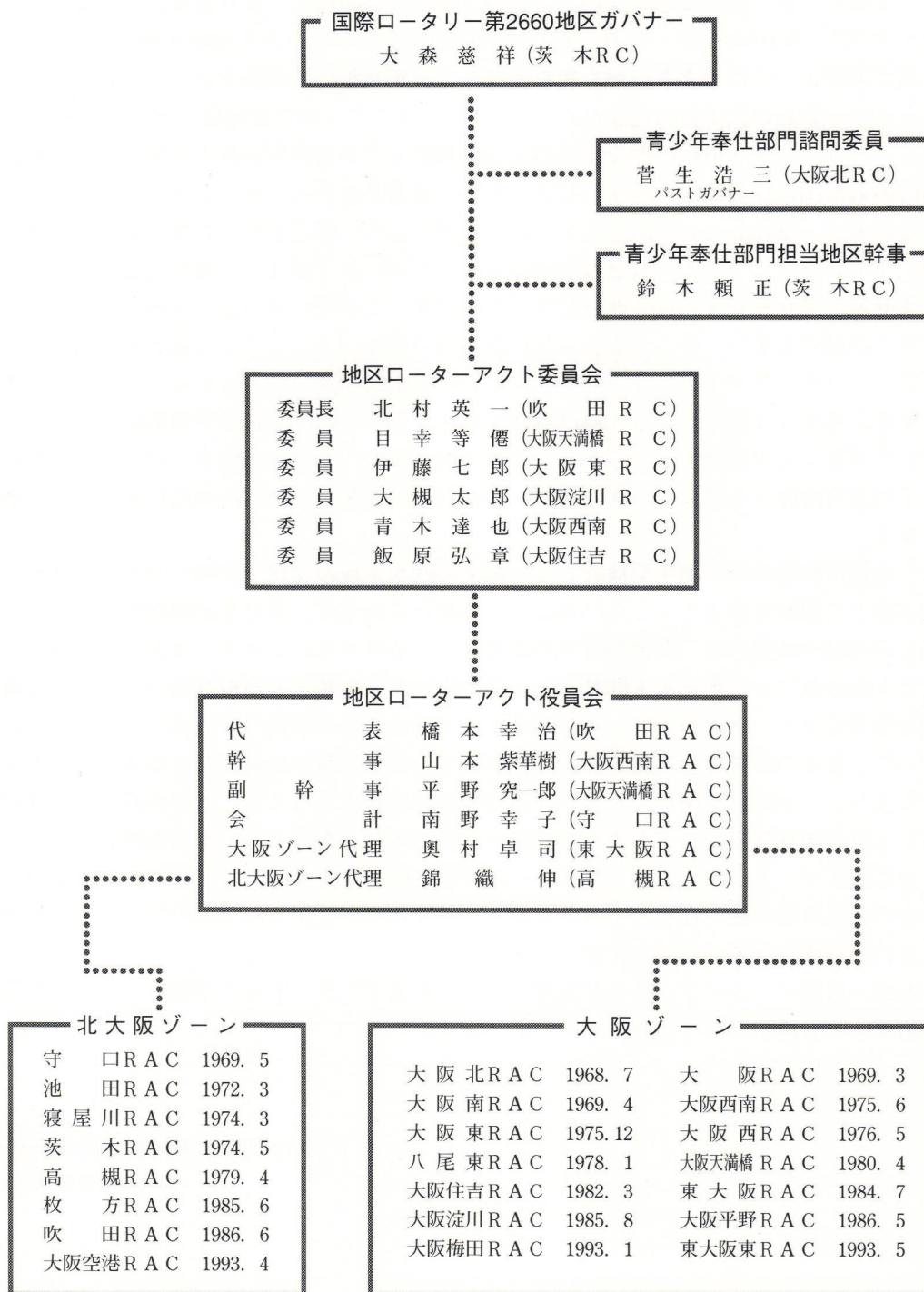
のでしょうか。わが国では、現在にいたるまで、近くは明治維新や第二次大戦など幾多の社会の変革があった筈であります。結局は現在においても、社会は個人と別に存在する巨大な存在で個人の意見や努力によってさしたる影響を受けるものではなく、個人は社会に適応して上手に生きて行くことが幸せの前提であるという、いわば適応意識が主潮となっているように見受けられます。「赤信号、皆で渡れば恐くない。」という横ならびの社会であります。このような社会では、「サービス」"Service" という社会意識や価値観が存在しないかも知れませんが、存在したとしても甚だ希薄なものに過ぎないかも知れません。大正九年に米山梅吉という大先輩によって初めてロータリーがわが国に持ち込まれたときに、ロータリアンの先輩達は、「サービス」"Service" というロータリーの唯一最高の理念をどのように邦訳するか大変困られたと思います。何故ならば、当時のわが国の社会には、「サービス」という観念がなかったからです。そこでやむなく大変ご苦心の末、「奉仕」という訳をあてられたのでしょう。私どもが言いならわしている「奉仕の理想」であります。しかし、残念ながら、「サービス」は「奉仕」とは相当違う観念であるかも知れません。「サービス」は「サービス」なのです。この喰い違いは、現在のわが国社会の現状でも全く以前のままで、少しも変わっていないのではないのでしょうか。私どもは折角ロータリーに学び、ローターアクトに学ぶのですから、この根本的な違いをしっかりと見つめてみる必要があります。単なる「適応」から「自己責任」へと、私どもの社会意識や価値観をしっかりとみつめ直してやる必要があるかと思うのであります。わが国の社会にロータリーが存在し、さらにその先行投資としてのローターアクトが存在する意義は、正にこの点にあるかと思うのであります。

尤も、東西冷戦構造の解消を契機として、従来の欧米主導の文化や文明に対する本格的な批判と省察が徐々に開始されようとしているように見受けられます。私どもが現在享受している数々の生活上の利便や快適さは、欧米的資質の開発によるものであります。反面、科学と技術にその大半を支配されている私ども人間社会と、その中であって私どもが現在被っている堪え難い心的物的な障害もまた、欧米的資質に由来するものであることが指摘され始めているからであります。従って、従来の欧米社会における個を絶対とする社会意識や価値観にも抜本的検討が必要でありましょうし、反面わが国などのように殆ど適応に終始する考え方にも根本的な省察が必要でありましょう。現在社会は、このような意識と価値のあり方をめぐって深刻な混迷の只中にあるかと存じますが、どうかローターアクトの皆様、皆様を提唱したロータリアンと語り合い手を組み合い、私ども自他と社会の幸せのために、将来に向けて正しい努力の方途を発見し実行して参りたいと存ずる次第でございます。

さすれば、皆様ローターアクトが展開していただけるプログラムとご活動も、一段の存在感と光輝を増すものと確信してやまないものであります。

1993~'94年度新旧理事役員研修会
『基調講演』より

地区組織図



地区ローターアクト年間スケジュール

実施日	行事名	ホスト
1993年 7月25日(日)	リーダーシップフォーラム及び地区研修会	守 口
8月22日(日)	第1回地区献血	八 尾 東
8月29日(日)	第1回海外研修オリエンテーション	地 区
9月12日(日)	大阪ゾーン交流会	大 阪 天 満 橋
9月19日(日)	第2回海外研修オリエンテーション	地 区
10月24日(日)	地区大運動会及び第2640地区との交流会	大阪淀川・大阪梅田
10月31日(日)	第3回海外研修オリエンテーション	地 区
11月20日(土)～23日(火)	地区海外研修(香港、マカオ)	地 区
12月12日(日)	RC、RACジョイントパーティー	大 阪 西
1994年 1月22日(土)	海外研修解団式	地 区
2月20日(日)	地区連絡協議会	大 阪 西 南
2月20日(日)	第2回地区献血	大 阪 北
3月 6日(日)	世界ローターアクトDAY	東大阪・東大阪東
3月12日(土)～13日(日)	アジア第1、第3ゾーン研修会参加(淡路島)	第2680地区
4月10日(日)	大阪ゾーンスポーツ大会	大 阪 住 吉
5月22日(日)	地区年次大会	吹 田
6月 5日(日)	新旧理事役員研修会	茨木・大阪空港
毎月1回	ゾーン別会長会	地 区
年間地区奉仕活動	ロータスクーポン・ベルマーク・及び外国コインの収集	

開催日	行事名	ホスト
8月6日(金)～8日(日)	少年少女ニコニコキャンプリーダー奉仕	RI地区青少年活動委員会
9月24日(金)～26日(日)	RYLAセミナー参加(能勢町)	RI地区青少年活動委員会
4月 9日(土)	地区ロータリー年次大会に参加	地区ロータリー
4月17日(日)	身障児等とロータリアンとの仲よし運動会に協力	RI地区社会奉仕委員会
5月3日(火)～5日(木)	RYLAセミナー参加(岬町)	RI地区青少年活動委員会

リーダーシップフォーラム・地区研修会

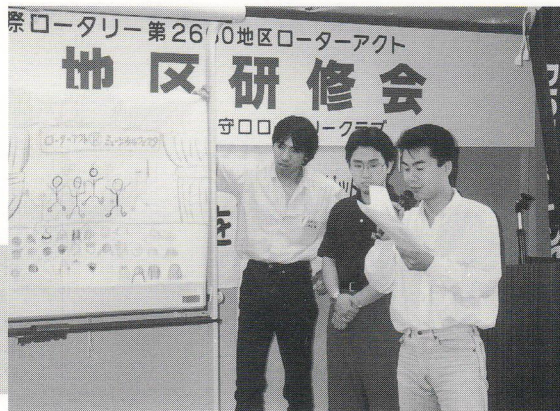
- ◆ホ ス ト 守口RAC
- ◆日 時 平成5年7月25日(日) 10:00~16:00
- ◆会 場 守口市市民会館(さつきホール)
- ◆目 的
 - 本来のRACとは、何かを再認識する。
 - 地区活動方針を知らしめる。
- ◆参加人数 RAC会員 120名 RC会員 30名 その他 2名
- ◆登録料 RAC会員 1,500円 RC会員 3,000円 クラブ分担金 15,000円

■ プ ロ グ ラ ム ■

10:00 開会点鐘・セレモニー
地区・ゾーン方針声明
スライド『ローターアクト・奉仕を通じての親睦』
昼 食
分 科 会『行事シュミレーション～RAC活動とは～』
分科会発表
講 評
閉会点鐘

所 感

大きなトラブルもなく、ほぼ定刻どおりにプログラムを進行出来、参加者にも楽しみながら今年度の方針を知らせることが出来た。



地区第1回 献血

- ◆ホスト 八尾東 RAC
- ◆日時 平成5年8月22日(日) 10:00~16:00
- ◆会場 JR大阪駅前東口バスロータリー広場
- ◆目的 ●献血キャンペーンを実施し、日本赤十字社の行う社会事業に協力する。
- ◆参加人数 RAC会員 82名 RC会員 5名
- ◆登録料 RAC会員 0円 RC会員 0円 クラブ分担金 0円

■実績■

受付数	228名	採血数	194名
内400ml献血			
	84名		72名
			(RAC、RC含む)

所感

当初の目標の200名には達しなかったが、夕方の雨を考えると上出来だった。
また、ホストをお願いした八尾東RACの活性化にも役だった様だ。



RID 2640・RID 2660 ローターアクト交流大運動会

- ◆ホ ス ト 大阪淀川 RAC・大阪梅田 RAC
- ◆日 時 平成 5 年 10 月 24 日 (日) 11:00~16:00
- ◆会 場 吹田市立豊津第二小学校
- ◆目 的 ●スポーツを通じて、第 2640 地区のローターアクターと交流をはかる。
- ◆参加人数 RAC 会員 120 名 RC 会員 9 名 その他 1 名 第 2640 地区より 50 名
- ◆登録料 RAC 会員 0 円 RC 会員 0 円 クラブ分担金 0 円

■ プ ロ グ ラ ム ■

- 11:00 開会セレモニー
- 11:30 競技開始
 - 1. あめ喰い・ラムネ飲み・二人三脚
 - 2. 風船運び割りリレー
 - 3. 借り物競争
 - 4. 綱引き
 - 5. PKゲーム
 - 6. メドレーリレー
- 15:30 閉会セレモニー

所 感

観戦している人にも楽しめるように、常に、チームで競うよう工夫したのがよかったと思います。



地区海外研修

◆出発前オリエンテーション（国際交流センター内フロンティアクラブ）

- 第1回 平成5年8月29日(日) 13:00~15:00
- 第2回 平成5年9月19日(日) 13:00~15:00
- 第3回 平成5年10月31日(日) 13:00~15:00

◆研修旅行

期 日／平成5年11月20日(土)~23日(祝)

訪 問 先／RI第3450地区（香港、マカオ）

目 的／海外のローターアクターと交流し、国際感覚を身につけ、国際理解を深める。

参加人数／ローターアクター32名、ロータリアン3名

登 録 料／129,000円（提唱RC援助金50,000円、地区援助金30,000円含む）

共 益 金／40,000円

◆解 団 式

日 時／平成6年1月22日(土) 18:30~21:00

場 所／大阪キャッスルホテル錦城閣

所 感

今回は初めてマカオも訪れることができ、
交流と奉仕活動に充実できたように思います。



RC・RAC ジョイントパーティー

- ◆ホ ス ト 大阪西 RAC
- ◆日 時 平成5年12月12日(日) 12:00~15:00
- ◆会 場 エスカミューズ
- ◆目 的 ●ロータリーとローターアクターの親睦。
- ◆参加人数 RAC会員 190名 RC会員 68名
- ◆登録料 RAC会員 4,000円 RC会員 7,000円 クラブ分担金 10,000円

■プログラム■

12:00 開会点鐘・セレモニー
12:20 乾 杯
食 事
ミニオペラ
ゲーム大会
15:00 閉会点鐘

所 感

会場が4つに分かれていたため全体の盛り上がりにかけてはよかったが、思いのほかロータリアンの参加が多く、内容的にも幅広い年代が楽しめるものだったので全体としては大成功であった。



地区第2回 献血

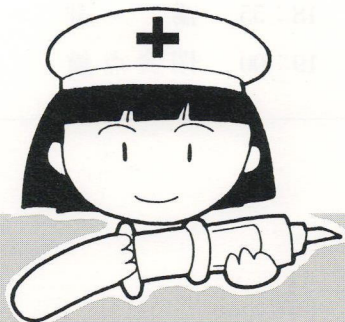
- ◆ホ ス ト 大阪北 RAC
- ◆日 時 平成6年2月20日(日) 10:00~16:00
- ◆会 場 JR大阪駅前東口バスロータリー広場
- ◆目 的 ●献血キャンペーンを実施し、日本赤十字社の行う社会事業に協力する。
- ◆参加人数 RAC会員 66名 RC会員 7名
- ◆登録料 RAC会員 0円 RC会員 0円 クラブ分担金 0円

■ 実 績 ■

	受付数 (RAC数)	採血数 (RAC数)
200 ml 献血	145名 (42名)	110名 (39名)
400 ml 献血	79名 (30名)	70名 (26名)
合 計	224名	180名

所 感

寒い中にもかかわらず、午後からは受付数も好調で、目標の200名を大幅に上回ることが出来ました。



地区連絡協議会

- ◆ホ ス ト 大阪西南 RAC
- ◆日 時 平成 6 年 2 月 20 日 (日) 17:00~19:00
- ◆会 場 TOWA りぶ ホール
- ◆目 的
 - 次々年度、年次大会ホストクラブの選出。
 - 前半期の活動報告。
- ◆参加人数 RAC 会員 27 名 RC 会員 3 名
- ◆登録料 RAC 会員 0 円 RC 会員 0 円 クラブ分担金 2,500 円

■ プ ロ グ ラ ム ・ 議 題 ■

- 17:00 開会点鐘
- 17:10 議題 1. 1996~'97 年度年次大会ホストについて
- 議題 2. 半期活動報告
- 議題 3. 世界ローターアクト DAY について
- 議題 4. 年次大会について
- 議題 5. 地区よりの連絡事項
- 18:55 講 評
- 19:00 閉会点鐘

所 感

少ない時間にもかかわらず、多くの議案を討議できた。22クラブ全員の出席でなかったのが残念であった。



世界ローターアクト DAY

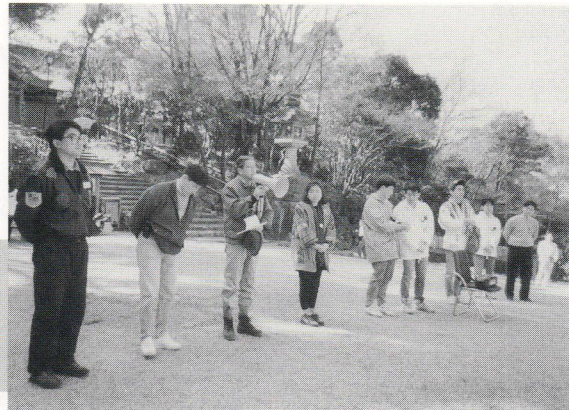
- ◆ホ ス ト 東大阪 RAC・東大阪東 RAC
- ◆日 時 平成6年3月6日(日) 10:00~16:00
- ◆会 場 生駒山ハイキングコース(神津峡コース)
- ◆目 的
 - 地域社会における RAC の認識を高める。
 - 春まだ遠い生駒山に息吹く草木を見つけ、環境保護の認識を深める。
- ◆参加人数 RAC 会員 81 名 RC 会員 26 名 その他 11 名
- ◆登録料 RAC 会員 500 円 RC 会員 500 円 クラブ分担金 10,000 円

チャリティー寄付先
重度重複聴覚障害者生活労働施設
『なかまの里』

チャリティー金額
¥56,768

所 感

ホストクラブの何回にもわたるハイキングコース視察のため、道に迷う者もなく、無事に下山できてよかった。



地区年次大会

- ◆ホ ス ト 吹田 RAC
- ◆日 時 平成6年5月22日(日) 10:30~19:00
- ◆会 場 吹田市文化会館メシアター
- ◆テ ー マ 『出会い ふれ愛 助けあい』
- ◆参加人数 RAC 会員 314 名 RC 会員 114 名 その他 9 名
- ◆登録料 RAC 会員 5,000 円 RC 会員 5,000 円 クラブ分担金 80,000 円

詳しくは、後述の年次大会報告書をご覧ください。

新旧理事役員研修会

- ◆ホ ス ト 茨木 RAC・大阪空港 RAC
- ◆日 時 平成 6 年 6 月 5 日 (日) 11:00~
- ◆会 場 茨木弁天宗サラスパティホール
- ◆目 的
 - 次年度への引き継ぎ。
 - 次期クラブ方針の確認。
 - 新年度役員の指導力研修。
- ◆参加人数 RAC 会員 151 名 RC 会員 9 名
- ◆登録料 RAC 会員 2,000 円 RC 会員 2,000 円 クラブ分担金 0 円

■プログラム■

開会点鐘

基調講演

『ロータリーから見るローターアクトプログラム』

地区パストガバナー・青少年奉仕部門担当 菅生 浩 三

昼 食 後

会長会及びディベート形式の分科会のわかれ
いろいろな事柄について討議した。

閉会点鐘

所 感

午前の基調講演の後、午後からはディベートによる討論を行い、参加者全員が発言する事により、指導力研修に成果があった。



ゾーン行事

大阪ゾーン行事

交流会

- ◆ホスト 大阪天満橋 RAC
- ◆日時 平成5年9月12日(日) 11:00~16:30
- ◆会場 大阪市中央青年センター
- ◆テーマ キケン見つけた
- ◆内容
 1. 車椅子介護の仕方の講習
 2. 車椅子介護の仕方の体験実習
 3. 街中の危険箇所の報告書作成及び提出
- ◆参加人数 RAC会員 89名 RC会員 11名

スポーツ大会

- ◆ホスト 大阪住吉 RAC
- ◆日時 平成6年4月10日(日) 10:30~16:00
- ◆会場 大阪セメント(株) グランド
- ◆目的 ●スポーツを通じて、親睦をはかる。
- ◆内容 キックベースボール
- ◆参加人数 RAC会員 74名 RC会員 12名 その他 4名

北大阪ゾーン行事

◎北大阪ゾーン RAC 会員の皆さん、1993 ~ '94 年度は貴方にとってどんな1年でしたか?
下の余白を貴方の素晴らしい思い出で満たして、貴方だけの報告書を完成してください。

(一年間どうも有難うございました。 錦 織 伸より)

地区ローターアクト委員・地区役員名簿

▼1993～'94年度国際ロータリー第2660地区ローターアクト委員

役 職	所属クラブ	氏 名	自 宅 住 所	電 話 番 号
委員 長	吹 田	北 村 英 一	〒564 吹田市南吹田4-19-1	06-384-8019
委 員	大阪天満橋	目 幸 等 僊	〒540 大阪市中央区久宝寺町3-3-10	06-761-8221
委 員	大 阪 東	伊 藤 七 郎	〒560 豊中市刀根山3-5-27	06-843-3239
委 員	大阪淀川	大 槻 太 郎	〒562 箕面市桜4-6-20	0727-23-3609
委 員	大阪西南	青 木 達 也	〒662 西宮市剣谷町6-38	0798-73-2680
委 員	大阪住吉	飯 原 弘 章	〒590 堺市百舌鳥夕雲町2-404	0722-44-5455

▼1993～'94年度国際ロータリー第2660地区ローターアクト役員

役 職	所属クラブ	氏 名	自 宅 住 所	電 話 番 号
代 表	吹 田	橋 本 幸 治	〒564 吹田市江坂町3-15-22	06-821-6241
幹 事	大阪西南	山 本 紫華樹	〒559 大阪市住之江区御崎1-6-28	06-681-3336
副 幹 事	大阪天満橋	平 野 究一郎	〒577 東大阪市荒本962-19	06-784-4492
会 計	守 口	南 野 幸 子	〒570 守口市菊水通2-28	06-992-4728
北大阪ゾーン 代 理	高 槻	錦 織 伸	〒569 高槻市城北町1-9-15-203	0726-75-3903
大阪ゾーン 代 理	東 大 阪	奥 村 卓 司	〒610-03 京都府綴喜郡井出町北玉水32-1-220	0774-82-4937

▼1994～'95年度国際ロータリー第2660地区ローターアクト委員

役 職	所属クラブ	氏 名	自 宅 住 所	電 話 番 号
委員 長	吹 田	北 村 英 一	〒564 吹田市南吹田4-19-1	06-384-8019
副 委員 長	大 阪 東	伊 藤 七 郎	〒560 豊中市刀根山3-5-27	06-843-3239
委 員	大阪西南	青 木 達 也	〒662 西宮市剣谷町6-38	0798-73-2680
委 員	大阪住吉	飯 原 弘 章	〒590 堺市百舌鳥夕雲2-404	0722-44-5455
委 員	大 阪	立 野 純 三	〒630-02 生駒市榎井沢16-24	07437-3-3193
委 員	寝 屋 川	小 西 眞 明	〒572 寝屋川市成田南町19-54	0720-35-2550
委 員	枚 方	服 部 修	〒573 枚方市西禁埜2-42-3	0720-40-3087

▼1994～'95年度国際ロータリー第2660地区ローターアクト役員

役 職	所属クラブ	氏 名	自 宅 住 所	電 話 番 号
代 表	大 阪 東	佐 藤 晴 一	〒665 宝塚市寿楽荘1-51	0797-74-0951
幹 事	大阪天満橋	小 林 奈 緒	〒540 大阪市中央区谷町2-2-31	06-941-6101
副 幹 事	大阪淀川	西 村 尚 子	〒573 枚方市印田町18-13	0720-40-6068
会 計	大 阪 東	林 志 織	〒563 池田市室町6-26	0727-53-0102
大阪北ゾーン 代 理	池 田	中 村 厚由樹	〒563 池田市城山町1-9	0727-51-0932
大阪中ゾーン 代 理	大阪梅田	藤 井 国 博	〒555 大阪市西淀川区御幣島6-15-5	06-475-3395
大阪南ゾーン 代 理	大 阪 南	松 川 圭 一	〒573 枚方市東中振2-9-2-501	0720-32-6400

ローターアクト会員推移一覧表

(1994. 7. 1現在)

年 度 クラブ名	1985 7.1	1986 7.1	1987 7.1	1988 7.1	1989 7.1	1990 7.1	1991 7.1	1992 7.1	1993 7.1	1994 7.1
池 田 RAC	17	8	19	11	12	15	14	17	22	23
茨 木 RAC	13	11	12	3	13	11	8	12	7	6
高 槻 RAC	22	20	19	19	15	15	8	13	7	8
守 口 RAC	15	17	16	15	13	16	12	13	16	20
寝 屋 川 RAC	16	18	20	18	20	23	19	13	9	7
枚 方 RAC	20	20	17	20	25	26	18	18	19	14
吹 田 RAC	—	19	24	21	20	20	21	20	32	34
大阪空港 RAC	—	—	—	—	—	—	—	—	27	19
大 阪 RAC	23	21	20	17	23	21	13	16	15	14
大 阪 東 RAC	22	24	17	20	28	30	30	30	34	40
大 阪 西 RAC	23	21	22	20	16	15	17	13	13	15
大 阪 南 RAC	28	25	26	24	32	20	21	28	27	16
大 阪 北 RAC	17	19	14	25	24	29	27	21	16	13
大阪西南 RAC	24	17	17	15	18	16	21	18	15	21
大阪天満橋 RAC	19	18	23	17	17	35	32	28	28	28
大阪住吉 RAC	21	18	23	15	22	16	25	15	13	7
八 尾 東 RAC	20	21	7	16	16	11	10	5	10	9
東 大 阪 RAC	20	15	21	18	18	24	13	18	16	23
大阪淀川 RAC	—	19	22	25	41	37	25	26	16	20
大阪平野 RAC	—	21	25	19	10	13	18	18	10	9
大阪梅田 RAC	—	—	—	—	—	—	—	—	25	24
東大阪東 RAC	—	—	—	—	—	—	—	—	25	22
会 員 合 計	284	352	364	338	383	393	352	341	402	392
ク ラ ブ 数 合 計	16	19	19	19	19	19	19	19	22	22
平 均 会 員 数	17.8	18.5	19.2	17.8	20.2	20.7	18.5	18.0	18.3	17.8

1993~94年度
国際ロータリー第2660地区ローターアクト会計報告

(単位：円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
地区援助金	5,141,802	RC 正副委員長会	79,821
前年度繰越金	5,399	RC 地区委員会	114,406
地区行事剰余金	306,934	アジア第1・第3ゾーンRAC研修会	341,718
1993~'94年度 各収支報告より		年次大会及び報告書	1,100,000
解約利息	490	海外研修	1,242,447
		RACパンフレット	751,350
		通信費	60,365
		名簿代	473,280
		地区行事援助金	300,000
		事務用品	149,313
		地区役員会・交通費	523,976
		雑費	197,499
		小計	5,334,175
		次年度繰越金	120,450
合計	5,454,625	合計	5,454,625

以上ご報告申し上げます。

地区会計 南野幸子

監査の結果、以上相違なきことを証します。

平成6年7月31日

会計監査 地区副幹事 平野 究一郎

～吹田RAC全員集合!!～



1993-'94年度 国際ロータリー第2660地区

ローターアクト年次報告書

発行日 平成6年11月1日

発行者 地区ローターアクト代表

橋本幸治

編集責任者 地区ローターアクト代表

橋本幸治

印刷所 大枝印刷株式会社

1993-1994 ROTARACT CLUB

